

2. いつまでもいきいきと ①健康づくりの推進

評価者	保険健康担当理事 大西 学		
令和5年度 実行宣言			
「ナッジ理論」を活用しながら、特定健康診査、がん検診等の受診率向上を図り、疾病予防、医療費抑制に取り組みます。 「第3次松阪市健康づくり計画(令和6年度～令和11年度)」の策定では、めざす姿や健康づくりの取組を市民と考え計画を策定します。 「松阪市スポーツ推進計画」と連携し、楽しく体を動かすことで、身体活動を増やす取組を推進します。			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆	
・「ナッジ理論」を活用し、特定健康診査やがん検診の未受診者に対し、受診勧奨の通知を行いました。 特定健康診査については、受診率向上を図るため2ヶ月間延長し、前年度より受診率を上げることができました。がん検診については、受診率は、横ばいで向上に至りませんでした。 ・第3次松阪市健康づくり計画策定において、「健康づくりワークショップ」を実施し、市民と意見交換を行いました。関係団体、関係各課、住民自治協議会から健康づくりの取組を聞き取り、計画に反映し、策定することができました。 ・スポーツ課と連携し、健康づくり動画の作成、配信を行いました。みえ松阪マラソン「健康ウォーク」では、ウォーキングサポーターと協働し、ウォーキングの普及に取り組みしました。			
令和6年度 実行宣言			
・「第3次松阪市健康づくり計画」の1年目として、3つの重点目標を推進します。 1. おいしくバランスよく食べよう 2. 毎日カラダを動かそう！+10(プラステン) 3. 自分にあった健康管理をしよう ・引き続き、「ナッジ理論」を活用しながら、特定健康診査、がん検診等の受診率向上を図り、疾病予防、医療費抑制に取り組みます。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	特定健康診査受診率(40歳～74歳)				目標種別
	評価者	保険健康担当理事 大西 学				↑
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	50.2 %	53.5 %	56.7 %	60.0 %
	実 績	39.1 %	38.1 %	40.0 %	39.7 %	40.6 %
	評 価	—	E	E	E	E
	今後の方針	引き続き、新40歳到達者に受診案内通知を送付し、未受診者へ対しても、「ナッジ理論」を活用したハガキ等で受診勧奨を行い、受診率向上に努めます。				
数値目標 ②	項 目	大腸がん検診受診率(40歳～69歳)				目標種別
	評価者	保険健康担当理事 大西 学				↑
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	15.0 %	15.0 %	15.0 %	15.0 %
	実 績	8.9 %	8.4 %	8.3 %	8.4 %	8.4 %
	評 価	—	E	E	E	E
	今後の方針	大腸がん予防の普及啓発と、検診の受診勧奨を行い、受診促進に取り組みます。				

数値目標 ③	項 目	健康だと思っている市民の割合				目標種別	↑
	評価者	保険健康担当理事 大西 学					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	－	80.0 %	80.0 %	80.0 %	80.0 %	
	実 績	78.4 %	－ %	79.4 %	79.0 %	76.7 %	
	評 価	－	－	C	D	E	
	今後の方針	市民の健康感を高め、身体を動かす習慣を身につけるよう、健康づくりを推進します。					

関係所属
保険年金課、健康づくり課

2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進

評価者	保険健康担当理事 大西 学		
令和5年度 実行宣言			
持続可能な一次二次救急医療体制のあり方、救急車の適正利用等について、引き続き、関係機関と協議を行い、方針を定めて行きます。			
↓			
令和5年度 評価	☆評価		☆☆☆☆
松阪地区の二次救急病院と、地域の医院・診療所の機能分担の推進と、地域の救急医療を守るため、「一次二次救急医療体制のあり方」について、関係機関と協議を行い、関係機関の合意を得、方向性を示しました。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
持続可能な一次二次救急医療体制のあり方、一次二次の機能分担について、引き続き、関係機関と協議を行い、市民に分かりやすく周知を行うとともに、かかりつけ医の普及啓発を行います。			

評価者	市民病院事務部長 石川 圭一		
令和5年度 実行宣言			
令和5年度に市民病院の在り方検証委員会を設置し、その検証を踏まえて令和5年度中に公立病院経営強化プランの策定を行います。 新型コロナウイルス感染症の5月8日からの5類移行後においても、必要に応じて感染症医療の中心的な役割を果たしていきます。 また令和4年度に起きた不祥事については、再発防止と事務改善に努めます。			
↓			
令和5年度 評価			☆☆☆☆
市民病院の在り方検証委員会は4回開催の後、令和5年9月29日に答申をいただき、40回に及ぶ各地域や市民への説明会などでの周知啓発を経て、指定管理者制度の活用に向けた条例改正の議決をいただくとともに公立病院経営強化プランを策定しました。 新型コロナウイルス感染症では、5類移行後も6回目と7回目のワクチン接種、そして陽性患者への積極的治療などに当たりました。また不適切な事務等の不祥事については、再発防止に向けた対策を検討し、事務改善を図りました。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
少子高齢化が進展する松阪地域の医療ニーズにあった市民病院の機能転換を図るための一歩として、指定管理者制度の活用に向けた具体的な協議・調整を進めます。 また指定管理制度の活用に向けては、職員の雇用や待遇等の協議・調整が極めて重要であり、職員面談等をしっかり行い、不安の解消に努めます。			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	「かかりつけ医がいる」と答えた人の割合				目標種別	↑
	担当部局長	保険健康担当理事 大西 学					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	—	80.0 %	80.0 %	80.0 %	80.0 %	
	実 績	74.1 %	— %	71.8 %	73.1 %	74.1 %	
	評 価	—	—	E	E	E	
	今後の方針	身近にかかりつけ医を持ち相談や受診ができるよう、普及啓発に努めます。					
数値目標 ②	指標名	医療施設、救急医療が整っていると感じる人の割合				目標種別	↑
	担当部局長	保険健康担当理事 大西 学					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	—	30.0 %	30.0 %	30.0 %	30.0 %	
	実 績	24.6 %	— %	20.6 %	22.3 %	23.8 %	
	評 価	—	—	E	E	E	
	今後の方針	松阪地区の一次、二次救急医療体制が安定して継続実施できるよう連携していきます。					
数値目標 ③	指標名	患者アンケートで「満足」と答えた患者の割合				目標種別	↑
	担当部局長	市民病院事務部長 石川 圭一					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	—	96.3 %	96.5 %	96.8 %	97.0 %	
	実 績	96.1 %	90.9 %	96.4 %	96.1 %	97.1 %	
	評 価	—	E	B	E	S	
	今後の方針	診察や会計の待ち時間が長く感じる、また最寄りの駐車場が朝は満車で停められなくなるといったご意見はあるものの、対応全般については一定の評価をいただいており、引き続き、目標をクリアできるように努めていきます。					

関係所属	
健康づくり課、市民病院事務部経営管理課	

2.いつまでもいきいきと ③地域福祉・生活支援の充実

評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦		
令和5年度 実行宣言			
地域共生社会の実現を目指し、 ・包括的な支援体制の構築に向けて、地域包括支援センターと連携を図りながら、「福祉まるごと相談室」の市内全域の設置を計画的に進めます。 ・相談しやすい体制、居場所づくりなど、ひきこもり支援施策の充実を図ります。 ・住居等における不良な生活環境の改善、いわゆる「ごみ屋敷」の対象者に、関係機関との連携のもと福祉的な支援を行います。			
令和5年度 評価		☆評価	☆☆☆☆
・福祉まるごと相談室を令和5年度は3地区に設置し、6地区において包括的な支援体制を構築しました。 ・ひきこもり支援において、相談しやすい体制、居場所づくりや家庭教室など、ひきこもり当事者やその家族に対し必要な支援を進めるとともに、よりよいサポーター養成講座を開催し、サポーターとともに地域での支援体制を考える体制を整えました。 ・住居等における不良な生活環境の解消に関する条例が施行となり、いわゆるごみ屋敷の対象者に対して、福祉的なチーム支援を行いました。			
令和6年度 実行宣言			
・地域共生社会の実現をめざし、地域包括支援センターと連携を図りながら、「福祉まるごと相談室」の市内全域の設置を計画的に進めます。 ・住民自治協議会との連携強化、並びに地域福祉の担い手である民生委員児童委員の活動支援に取り組みながら、地域における支え合い活動の普及を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めます。 ・生活困窮者の自立促進を図るため、関係機関と連携し相談者に寄り添った支援を行います。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項目	生活困窮者自立支援相談受付件数				目標種別
	担当部局長	健康福祉部長 谷中 靖彦				↑
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標	—	270 件/月	270 件/月	270 件/月	270 件/月
	実績	266 件/月	611 件/月	559 件/月	537 件/月	482 件/月
	評価	—	S	S	S	S
	今後の方針	物価高騰など生活困窮者を取り巻く環境は依然として厳しいことから、相談者に寄り添った支援を継続していきます。				
数値目標 ②	指標名	自立支援プログラムによる就労支援での自立件数				目標種別
	担当部局長	健康福祉部長 谷中 靖彦				→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標	—	30件	30件	30件	30件
	実績	30件	15件	17件	26件	23件
	評価	—	E	E	E	E
	今後の方針	生活保護受給者の自立を促すために支援を継続します。高齢者や精神疾患を患った保護受給者の増加を踏まえつつ、就労による自立支援に努めます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	指標名	災害ボランティアセンターサポートスタッフの養成者数(累計)				目標種別	↑
	担当部局長	健康福祉部長 谷中 靖彦					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	—	134 人	142 人	149 人	156 人	
	実 績	126 人	137 人	143 人	151 人	161 人	
	評 価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	災害時において、市内のボランティア情報を集約し、ボランティアをやりたい人と来てほしい人をつなぐことがスムーズに行えるようボランティアセンターの機能強化を図ります。					

関係所属
健康福祉総務課、保護自立支援課

2. いつまでもいきいきと ④高齢者福祉の推進

評価者	保険健康担当理事 大西 学		
令和5年度 実行宣言			
地域包括ケアシステムのさらなる推進のため、 ・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定委員会において、サービス量の把握、事業費の推計により適正な保険料を算定するとともに、介護人材不足等の課題の協議を行いながら、計画策定に取り組みます。 ・松阪市地域包括ケア推進会議を中心として、多職種連携による強みを生かし、在宅医療と介護の連携、権利擁護の推進を図ります。 ・松阪市版エンディングノート「もめんノート」の普及・活用について、地域包括支援センター等と連携し、コロナ禍で縮小されていた書き方講座の回数を増やし、高齢者を含む市民の方に、有効に活用いただく機会を設けていきます。 ・認知症支援の仕組みづくりの「認知症高齢者等個人賠償責任保険」「おかえりSOSネットワークまつさか」に加え「チームオレンジ」を新たに立ち上げ、在宅の認知症の人やその家族を支援します。			
↓			
令和5年度 評価		☆評価	☆☆
・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画については、高齢者保健福祉計画等策定委員会を開催し、計画期間に必要な介護サービスの量、それをまかなうための保険料、国の指針に基づく介護人材の確保等を協議し、令和6年3月に策定しました。 ・松阪市地域包括ケア推進会議・市主催の「在宅医療市民講演会」(210人参加)を開催し、多職種連携の周知と松阪市版エンディングノート「もめんノート」の啓発を行いました。 ・認知症支援の「認知症高齢者等個人賠償責任保険」「おかえりSOSネットワークまつさか」に加え「チームオレンジ」を新たに立ち上げ(1か所)、在宅の認知症の人やその家族の支援に努めました。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、介護給付の適正化と保険料収納の適正管理に努め、安定した介護保険事業を実施します。 ・松阪市地域包括ケア推進会議を中心として、多職種連携による強みを生かし、在宅医療と介護の連携、権利擁護の推進を図ります。 ・令和6年1月施行の「認知症基本法」の基本理念を踏まえ、従来からの認知症支援の「認知症高齢者等個人賠償責任保険」「おかえりSOSネットワークまつさか」に加え「チームオレンジ」を増やし認知症の当事者やその家族を地域で支援する体制を構築します。 ・「松阪市版エンディングノート もめんノート」の活用とともに「エンディングサポート事業」を周知し、必要な人に必要な支援を行います。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	松阪市版エンディングノート活用方法を学んだ市民の人数				目標種別 ↑
	評価者	保険健康担当理事 大西 学				
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	750 人	3,000 人	5,500 人	8,000 人
	実 績	—	880 人	1,184 人	1,729 人	3,013 人
	評 価	—	S	D	D	D
	今後の方針	「もめんノート」の書き方講座や記述内容の見直しを行うとともに、より有効活用していただけるよう「エンディングサポート事業」との連携を継続していきます。				
数値目標 ②	項 目	認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入者数				目標種別 ↑
	評価者	保険健康担当理事 大西 学				
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	200 人	250 人	350 人	400 人
	実 績	—	165 人	216 人	286 人	341 人
	評 価	—	B	B	B	B
	今後の方針	超高齢社会を迎え認知症高齢者が増加する中、認知症になっても地域で安心して生活できるよう「認知症高齢者等個人賠償責任保険」と「おかえりSOSネットワークまつさか」の周知に努めます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項 目	介護予防活動のリーダー(介護予防いきいきサポーター)の数				目標種別	↑
	評価者	保険健康担当理事 大西 学					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	－	750 人	800 人	850 人	900 人	
	実 績	724 人	719 人	751 人	784 人	826 人	
	評 価	－	E	D	D	C	
	今後の方針	介護予防活動のリーダーを養成し地域の集いの場の拡充と充実を図り、高齢者の介護予防をさらに進めます。					

関係所属
保険年金課、介護保険課、高齢者支援課

2. いつまでもいきいきと ⑤障がい福祉の推進

評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦	
令和5年度 実行宣言		
障害福祉サービス及び各種給付等の実施について、相談支援事業所等との連携を図り速やかに支給決定することで障がい児・者とその家族の意向に沿った支援を円滑に提供します。		
↓		
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆
介護給付費等給付事業や障害児通所支援給付事業の利用が増加するなか、相談支援事業所等との連携を図り適切な支給決定することで障がい児・者とその家族の意向に沿った障害福祉サービス等の提供ができました。		
↓		
令和6年度 実行宣言		
障がい者・障がい児一人ひとりの状況に合わせた多様な障害福祉サービスを確保するため、相談支援事業所と連携を図り適切な支援が提供できるように取り組みます。		

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	グループホームの利用者数(実人数)				目標種別 ↑
	評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦				
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	137 人	143 人	143 人	143 人
	実 績	131 人	150 人	169 人	186 人	206 人
	評 価	—	S	S	S	S
	今後の方針	国の社会福祉施設等施設整備事業費補助金、三重県障害者グループホーム緊急整備事業補助金の活用を勧め、施設の指定に向けた適切な情報提供等を行うことでグループホームの設置を推進します。				
数値目標 ②	項 目	手話奉仕員養成講座受講者数(累計)				目標種別 ↑
	評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦				
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	59 人	95 人	131 人	167 人
	実 績	52 人	57 人	91 人	131 人	161 人
	評 価	—	B	A	S	A
	今後の方針	受講生が手話での会話を楽しめるよう講座内容を工夫し、受講生の意見を取り入れ継続して受講できる環境を整えます。				
数値目標 ③	項 目	指定相談支援事業所数				目標種別 ↑
	評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦				
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標	—	35 事業所	35 事業所	35 事業所	35 事業所
	実 績	33 事業所	36 事業所	37 事業所	40 事業所	38 事業所
	評 価	—	S	S	S	S
	今後の方針	相談支援体制の充実・強化を図るため相談支援専門員研修の充実に努め、より適切な障害福祉サービスの提供に取り組みます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ④	項 目	福祉避難所指定事業所数				目標種別	↑
	評価者	健康福祉部長 谷中 靖彦					
	年 度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標	—	0 事業所	5 事業所	5 事業所	5 事業所	
	実 績	0 事業所	0 事業所	24 事業所	24 事業所	24 事業所	
	評 価	—	A	S	S	S	
	今後の方針	福祉避難所開設意向調査の結果を活用し、障害福祉サービス提供事業所の理解を得ながら、福祉避難所の協定締結に向けて働きかけを行います。					

関係所属
障がい福祉課